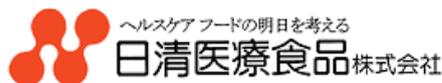


2022年8月22日

各位



問合せ先 総務部広報課 担当：山崎 小川

連絡先 03-3287-3619

国内最大級のセントラルキッチンが誕生

ヘルスケアフードファクトリー関東 竣工式を挙行



病院・介護福祉施設での給食サービスのリーディングカンパニーである日清医療食品株式会社（本社：東京都千代田区、社長：立林勝美 以下「日清医療食品」）は、8月10日にヘルスケアフードファクトリー関東（所在地：栃木県栃木市）の竣工式を行いました。当日は栃木県、栃木市の来賓の皆さま方、近隣の自治会の会長様方、各関係者、関連会社の皆さまにご参加いただきました。コロナ禍の中、感染症対策を徹底し、ご協力をいただきまして無事に式を終える事が出来ました。

当社が大規模セントラルキッチンを新設している背景には、医療や福祉業界の深刻な人手不足と高齢化に伴う給食需要の増大があります。これから労働人口が減少していく中で、現場スタッフの負担低減となる仕組み、患者や高齢者の食事を安定的に供給できる体制の構築が急務となっています。

原材料管理のための大型冷凍自動倉庫の採用、調理工程で加熱から冷却までの自動化、搬送工程の自動化など、作業工程の大半を自動化することで生産の効率化と1日10万食という大量生産を実現します。また、当社独自の食事サービス方式「モバイルプラス」の専用工場になります。均一な品質で生産した食事を急速冷却し、真空パックで保存するクックチル方式を採用しています。これにより病院や介護施設の厨房で行っていた献立作成・発注・検収・下処理・調理などの業務をセントラルキッチン（当社工場）が担い、出荷先の厨房では再加熱、和えるなどの簡単な調理だけとなりますので、調理技術がないスタッフでも均一な品質を保った食事サービスが可能になります。

当社では「ヘルスケアフードのオンリーワン企業として、食を通じて日本の医療福祉サービスの質の向上に貢献する」という経営理念のもと、「おいしさ」と「安全性」を確保した食事の提供を行うとともに、新しい価値を生むサービスの企画・開発に取り組んでまいります。

【当日の様子】



神事 神酒拝戴の様子



立林社長のご挨拶



メディア説明会 テープカット



工場前で記念撮影



内覧会の様子



定礎式の様子



社員による食堂



今年入社の栄養士の子たち



当社ブランド『モバイルプラス』

【新工場「ヘルスケアフードファクトリー関東」について】

名称	ヘルスケアフードファクトリー関東
所在地	栃木県栃木市千塚町 1722 番
敷地面積	24, 134. 13 m ² (7, 300 坪)
延床面積	21, 539. 87 m ² (6, 516 坪)
操業開始日	2022 年 11 月 (予定)
設計会社	三菱ケミカルエンジニアリング株式会社
施工会社	古久根建設株式会社
製造商品	医療・福祉施設で提供する一般食、治療食
製造数	約 10 万食/日：当社ブランド『モバイルプラス』
採用計画	300 名採用

【本件に関するお問い合わせ先】

日清医療食品株式会社 総務部 広報課 [担当：山崎/小川]

〒100-6420 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号 東京ビルディング 20 階

電話：03-3287-3619(直通)

以上